

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果 (H28.12/7 ~ 12/28)

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内で収集した大気1m³あたりの浮遊放射性物質の濃度(ミリベクレル/m³)を測定しました。 下段()内は検出限界値。

測定地点			12/7 ~ 12/14	12/14 ~ 12/21	12/21 ~ 12/28
小高区	川房公会堂 (川房)	Cs134	0.160 (0.014)	0.044 (0.017)	0.020 (0.015)
		Cs137	0.920 (0.015)	0.380 (0.018)	0.110 (0.015)
	金房小学校 (飯崎)	Cs134	不検出 (0.016)	不検出 (0.018)	不検出 (0.020)
		Cs137	不検出 (0.019)	0.026 (0.017)	0.080 (0.017)
	塚原公会堂 (塚原)	Cs134	不検出 (0.016)	不検出 (0.015)	不検出 (0.015)
		Cs137	不検出 (0.016)	0.028 (0.013)	0.038 (0.012)
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	Cs134	不検出 (0.014)	不検出 (0.014)	不検出 (0.016)
		Cs137	0.053 (0.013)	0.027 (0.014)	0.055 (0.014)
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	Cs134	不検出 (0.014)	不検出 (0.015)	不検出 (0.014)
		Cs137	不検出 (0.019)	0.022 (0.016)	0.022 (0.014)

測定地点			12/7 ~ 12/14	12/14 ~ 12/21	12/21 ~ 12/28
原町区	横川ダム (馬場)	Cs134	不検出 (0.014)	不検出 (0.015)	不検出 (0.012)
		Cs137	0.027 (0.012)	0.045 (0.012)	0.069 (0.013)
	原町保健センター (小川町)	Cs134	不検出 (0.016)	不検出 (0.020)	0.033 (0.018)
		Cs137	0.044 (0.016)	0.067 (0.021)	0.190 (0.016)
	高平生涯学習センター (下高平)	Cs134	不検出 (0.014)	不検出 (0.019)	不検出 (0.011)
		Cs137	0.034 (0.012)	0.030 (0.015)	0.069 (0.012)
市立総合病院 (高見町)	Cs134	不検出 (0.015)	不検出 (0.016)	不検出 (0.015)	
	Cs137	0.057 (0.017)	0.056 (0.019)	0.063 (0.013)	
大原公会堂 (大原)	Cs134	不検出 (0.015)	不検出 (0.017)	不検出 (0.020)	
	Cs137	0.081 (0.015)	0.110 (0.017)	0.150 (0.018)	

検出限界値はおおむね0.02 ~ 0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、放射能濃度が検出限界値未満の場合、「不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

市内の大気浮遊じんに含まれる放射性物質濃度の平成28年最後の測定結果は、セシウム137で平均0.1mBq/m³と低い値でした。

この値は、平成28年に福島県や原子力規制委員会が実施した測定注1で得られた値と同レベルです。日常生活を送るうえで放射線の健康影響を心配することはありません。

注1 福島県と原子力規制委員会の実施している大気浮遊じんの放射能測定結果は、福島県ホームページ (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/193461.pdf>) と原子力規制委員会ホームページ (<https://www.nsr.go.jp/data/000172805.pdf>) で閲覧できます。